

## 12月議会

「コロナ禍で生活に困っている人の実態と対策」の質問では、救済制度の利用状況についてただし、次のことを求めました。

- ・生活の目処が立たない世帯については、すみやかに生活保護申請に対応し、車の処分や生命保険の解除を即時に求めないこと。
- ・就学援助制度等、救済制度を住民に知らせること。
- ・税・料金の減免、または支給についてさらに検討すること。
- ・生活相談窓口の電話番号を知らせ、いつでも相談できる体制を整えること。

困ったことがあったら 高取町社会福祉協議会 52-3865  
高取町福祉課 52-3334

「飼い主のない猫の不妊去勢手術実施で、猫トラブルを減らす」の質問では、猫は年3回の妊娠で、十数匹出産が可能だそうです。町はこれまで、飼い主のない猫にえさをあげないようにと啓発していますが、それでは、数が増えるばかりです。県の手術費無料事業や動物基金全額無料券などを利用して、取り組むことを求めました。（すでに、経費を負担して手術をしている住民もおられます。）

「今後の文化的な活動について」の質問では、町の豊かな自然環境、歴史的文化遺産に触れてもらうために、展示会の開催、現地探索、ネット活用、また、文化活動の場所の提供や公共施設利用料金軽減や活動の紹介等についてさらに検討するよう求めました。



### 新しい「たかとり幼稚園」の トイレと遊具



### 日本共産党が発行する新聞「赤旗」から抜粋

#### 子ども、高齢者の公共交通無料に 市長「気候変動対策進めるために」

ポルトガルの首都リスボン市議会は、地球温暖化対策として、18歳未満の子ども、23歳以下の学生、65歳以上の高齢者の市民に対し、地下鉄、公営バス、鉄道、路面電車を無料にすることを全会一致で決めました。リスボンの人口は50万人。無料化の実施には、年間（約20億8000万円）の予算が必要です。モエダス市長は、燃料価格が上昇するなか、もっとも貧しい人々を守る措置にもなると述べました。

#### くらしのなかのジェンダー 被害者を黙らせる女性蔑視

痴漢は「性暴力」 どうして中高生が性被害に遭うことが、こんなに軽視され、声をあげないことがまるで暗黙の了解のように求められてきたのか。被害者を黙らせ、大したことないのだと思わせる抑圧があまりにも強かったと気づいたときに、この国の女性蔑視の強さに気づきました。性暴力や性差別に抗議する女性たちの活動に対して、どんな攻撃的なことばが向けられ、デマが流されるか。（ライター 小川たまか）

9条改憲NO!の全国署名にご協力ください